

## 平成19年度第1回流山市文化財審議会会議録

### 1 開催日時

平成19年7月27日(金)会議：午後1時30分～午後2時30分

視察：午後3時00分～午後4時00分

### 2 場 所

会議：流山市役所 第1庁舎4階 第1委員会室

視察：流山市立博物館 企画展

### 3 次 第

(1) 開会のことば

(2) 会長あいさつ

(3) 教育長あいさつ

(4) 生涯学習部長紹介

### 4 議 題

(1) 円東寺石造十二神将について

(2) 東福寺千体阿弥陀如来立像の修理終了について

(3) 千葉県教育委員会が提案する世界遺産候補について

(4) 鱸ヶ崎三本松古墳について

(5) 新たに指定する文化財の候補について

(6) その他

### 5 現地視察

流山市立博物館 企画展「流山庚申塔探訪」

### 6 出席委員

栗山会長・下津谷副会長・小川委員・岩崎委員・桑原委員・志田委員・鎧委員(以上7委員全員出席)

### 7 事務局員

石井生涯学習部長・今関生涯学習次長兼生涯学習課長・金子文化財保護係長・増崎主任学芸員・小栗主任学芸員

### 8 傍聴者

なし

### 9 議事録

開会(午後1時30分)

(1) 円東寺石造十二神将について

無住であった円東寺は、住職が着任し庫裏を新築した。そこで、指定文化財の安置状況について確認した。文化財は、従前のとおり安置されていたが、一部破損がみられた。修理について委員に相談している。

(委員)

破損は指定したときからか。

(事務局)

そうです。

(委員)

大学の同僚の教授・学生と調査に入るつもりだが、交通費が必要であり、事務局に予算化をお願いする。

(事務局)

了承

(2) 東福寺千体阿弥陀如来立像の修理終了について

平成17年度から修理していた東福寺千体阿弥陀如来立像の修理が終了した。千仏堂も本堂隣に新築し、修理後は新千仏堂に安置されている。

(委員)

きれいになりましたね。

(委員)

元の千仏堂はどうなっていますか。

(事務局)

千仏は移転しましたが、建物はそのままです。

(会長)

元の千仏堂を調査する必要があるのではないか。

(事務局)

すでに調査して、図面もあります。

(3) 千葉県教育委員会が提案する世界遺産候補について

千葉県教育委員会が世界遺産候補として「東京湾東岸域の大型環状貝塚群」を検討しており、流山市では上新宿貝塚、上貝塚貝塚、三輪野山貝塚、野々下貝塚が候補にあがっている。

( 会長 )

ずいぶん大きな話ですね。

( 委員 )

県立中央博物館で山崎貝塚の買い上げについて講演を頼まれている。山崎貝塚の時は大変苦労した。

( 事務局 )

流山市としても、突然の話でどう対応すべきか困惑している。

( 会長 )

県の動きを見守るしかないでしょう。

( 4 ) 鱈ヶ崎三本松古墳について

西平井・鱈ヶ崎地区区画整理事業は、事業の進捗率が思わしくなく、事業期間の延伸と計画変更を余儀なくされている。鱈ヶ崎三本松古墳については、平成12年に諮問し、答申をいただいているが、今後もこの答申に基づいて協議していく。

( 委員 )

地区の全部を見直すのか。

( 事務局 )

区画整理は西平井地区から進んでおり、西平井地区では発掘調査も行い、工事も着工している。見直すのは主に鱈ヶ崎地区で、三本松古墳も含まれる可能性がある。

( 会長 )

すごい擁壁になっていましたね。

( 委員 )

昭和60年ころに作ったものだ。

( 事務局 )

12年の答申の「文化財の保存と安全の確保の両立をめざす」というスタンスで協議していきます。

( 各委員 )

了承。

( 5 ) 新たに指定する文化財の候補について

( 会長 )

この議題は文化財所有者の個人情報を含むことから、流山市情報公開条例第7条、第1項の(2)及び同条第6項ウ 調査研究にかかる事務に関し、その公正かつ能率的な遂行を不当に阻害するおそれがあることから、非公開としたいが皆さんいかがでしょうか。

(委員)

異議なし。

(会長)

ではこの議題を非公開とします。

(6) その他

特になし

会議終了後、委員4名が流山市立博物館において企画展「流山庚申塔探訪」を視察し、博物館主任学芸員から展示の説明を受けた。